

令和二年十一月一日提出
質問第六八号

北九州空港の三千メートル級滑走路の早期事業化に関する質問主意書

提出者
城井
崇

北九州空港の三千メートル級滑走路の早期事業化に関する質問主意書

令和二年度当初予算において、九州で唯一の二十四時間運用空港である、北九州空港の滑走路延伸に係る調査費が計上された。

令和元年十一月には新たに大韓航空が貨物定期便を就航し、令和二年一月には特殊大型貨物の輸送を取り扱うボルガ・ドニエプル空港が北九州空港の利便性を評価し、福岡県・北九州市と利用促進に係る覚書を締結するなど、北九州空港の物流拠点化が進んでいるところである。

そこで、北九州空港の三千メートル級滑走路の早期事業化に関して、以下質問する。

一 北九州空港の滑走路の三千メートル化を、可能な限り早期に事業化するため、環境影響評価等の諸手続きが必要であることを踏まえ、諸手続きにかかる期間の短縮など、政府において必要な措置を講ずるべきと考える。政府の認識を明らかにされたい。

右質問する。